

# JACC 比較文化会報

本部事務局：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号  
西南女学院大学 観光文化学科 林裕二研究室内  
会長室：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号  
西南女学院大学 観光文化学科 八尋春海研究室内  
学会HP：http://www.hikakubunka.jp/

## 《会長 巻頭言》

日本比較文化学会会長 八尋 春海

会員のみなさまには、日頃より学会運営におきまして大変お世話になっております。ここ数年はさまざまな自然災害が連続して日本各地を直撃しており、みなさまのご無事を祈るばかりです。

さて、自然災害以外で最近のマスコミの報道でよく取り上げられていることの一つに、日韓関係があります。国境を接する2つの国が政治的な対立をすることは世界じゅうを見ても歴史的にもごく当たり前のことのようにです。悲しいことではありますが、事実であり、解決が困難なこともよくあります。しかしながら、最近の日韓関係においては政治的な両国の対立であったものが、他のさまざまな分野にまでその影響が急速に拡大しており、憂慮すべき事態となっています。両国の「有識者」などが、政治的な思惑を拡大解釈してその国の「国民性」とまで言っているのを目の当たりにすると、あまりに短絡的で感情的なものに映りません。

一般的には、問題が発生した時には、短期間で最小限の被害に抑えてその解決を目指すのが王道です（自然災害への対応はその典型）。日韓関係に対する両国における対応を見ますと、残念ながら王道には見えません。

本学会はその名の通り、「比較」ということを大きな柱とした学会であり、当然のことながら、物事を一方的な視点で見ることなく、複眼的に見ることの重要性を意識した会員で成り立っていると言っても過言ではありません。韓国には姉妹学会もあり、これまでずっと信頼関係で結ばれてきたという事実もあります。私たちは、これまで培った見識を発揮して両国における動静に冷静に対応することが肝要ではないでしょうか。

みんなで王道を堂々と歩いていきましょう。

## 《2020年度日本比較文化学会第42回全国大会（国際学術大会）の日時・会場決定》

日本比較文化学会会長・大会実行委員長

八尋 春海（西南女学院大学）

以下の要領で2020年度第42回全国大会（国際学術大会）を開催いたします。

日時：2020年5月23日（土）

担当支部：九州支部

会場：北九州国際会議場（北九州市小倉北区）JR小倉駅より徒歩5分

シンポジウム・テーマ：「比較文化の教育実践」

発表をご希望の場合は下記の期間にご応募ください。

2019年12月1日：研究発表申込み開始

2020年1月31日：研究発表申込み締切り

今後は学会のホームページで大会関連情報を随時掲載いたしますので、そちらをご覧ください。

## 《大会報告：2019年度日本比較文化学会第41回全国大会（国際学術大会）》

関西支部長・大会実行委員長 山内 信幸（同志社大学）

2019年5月18日（土）、同志社大学今出川キャンパスを会場として、第41回全国大会・国際学術大会が開催されました。約120名の参加者があり、海外からも、提携学会の韓国日本文化学会、台湾日本語文学会、淡江大学村上春樹研究センター、台湾日本語教育学会の役員の先生方をはじめ、多くの会員の皆様方の参加をいただきました。

当日は、理事会、総会の後、10時10分からシンポジウムが開かれました。テーマは「比較文化の教育と研究の新潮流」で、石崎一樹先生（奈良大学）の司会の下、海外提携学会の代表をふくめて6名のパネリストの発表がありました。午後からは9分科会場に分かれ、合計52件の研究発表がありました。いずれの会場とも活発な質疑応答が交わされたと仄聞しております。

16時20分からは、阪田真己子先生（同志社大学）による「私たちはなぜ笑うのか—笑い研究の潮流と課題—」と題する講演がありました。笑いに溢れたご講演は、たいへん刺激的で、あっという間に予定の時間が過ぎました。

夕刻は、懇親会場を「がんこ高瀬川二条苑」に移し、お店側のご厚意で青もみじ鮮やかな庭園を臨む部屋で、おいしい京料理に舌鼓を打ちながら、会員同士の楽しい歓談・交流のひとつとなりました。

遠くからご参加くださった会員の皆様方、また、準備・運営にご協力くださった関西支部の皆様方、当日お手伝いいただいた同志社大学文化情報学部の学生の皆様方に心から感謝を申し上げます。

## 《編集委員会報告》

編集委員長 中村 友紀

今回2019年度の総会の折の編集委員会では、以下のような変更が決定されました。

(1) 比較文化学会奨励賞の審査対象となる論文の掲載期間が変更されます。従来は前年7月から当年4月までに発行された『比較文化研究』の掲載論文でしたが、2020年度より、前年4月から当年1月までの『比較文化研究』掲載論文の中から授賞対象論文を選出します。

(2) 投稿規程第5条（大学院生の定義）に関して、付則が加えられました。原則として大学院生が投稿する際は、当学会の大会・例会で発表された論文であることが条件づけられています

が、特定の職業の経験者はその条件が免除されます。大学院生で有職の方や職業経験者の方は、ご自身が免除に該当するか、学会ウェブサイトの下記アドレスのページにてご確認ください。  
[https://hikakubunka.jp/?page\\_id=3633](https://hikakubunka.jp/?page_id=3633)

2019年度学会奨励賞については、残念ながら授賞論文を選出することができませんでした。編集委員会としてはぜひとも選出したいと望んでおり、また過去1年間の掲載論文の中には質の高い論文も多くありました。しかしながら、授賞となると優秀な研究というだけではなく、新規の内容を持つ「独創性」や、その研究領域の進展に寄与する「貢献性」等の面でのインパクトを十分備えているかという点での要求が高くなります。来年こそは、そうした力を持つ論文に出会えることを期待しております。

なお、近年の趨勢として、論文は研究コンプライアンス上瑕疵がないかどうか厳しい目で見られるようになってきました。当学会誌では殆どの論文にはそうした問題はありますが、貴重な研究成果を無駄にしないためにも、ぜひともこの点をご留意ください。

## 《総会報告》

事務局長 林 裕二

2019年5月18日（土）、第41回全国大会の会場である同志社大学今出川キャンパスにて、日本比較文化学会総会が開催されました。

はじめに当日午前で開催された理事会の議を受け、2018年度事業報告、2018年度決算報告および監査報告が行われました。決算については「大会開催関連費」のうちの「第40回大会費」と「第40回大会・海外会員補助」を合算するという一部変更で承認されました。また、2019年度予算についても「大会開催関連費」のうちの「第41回大会費」と「第41回大会・海外会員補助」を合算するという一部変更で承認されました。

次に2020年度第42回全国大会および総会について、九州支部所管で2020年5月23日（土）に北九州国際会議場（北九州市小倉北区）にて開催されることが承認されました。シンポジウムの題目として「比較文化の教育実践」が予定されています。

総会報告は以上となりますが、最後に、2018年度から新たな事務局体制となり、会長の八尋春海先生はじめ理事の先生方、事務局の先生方、また多くの会員の皆様に支えられて事務局の業務を何とか全うできておりますこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

**\*2018年度決算・2019年度予算報告は巻末（p.8）に掲載しております。**

## 《支部報告》

### 東北支部

\*【報告】東北・関東支部合同例会

日時：2019年9月7日（土）13:30～18:00

場所：神田外語学院 本館5階1 - 504教室 / 1 - 505教室

### プログラム

司会：郭 潔蓉（東京未来大学）

#### 1. 研究発表

——セッションA——

司会：鈴木 宣行（創価大学）

(1) 奴久妻 駿介（パークレーハウス語学センター）「日本の外国人児童生徒と公的領域の関係性 —不就学と日本語教育の事例—」

(2) 木下 哲生（防衛大学校）「スタジオジブリのアニメーション映画に見る『子どもの成長』—

『となりのトトロ』における子どもの『分』という観点から—

(3) 高橋 正 (創価大学) 「死生観の比較文化学構想」

司会：伊藤豊 (山形大学)

(4) 木鎌 耕一郎 (神戸松蔭女子学院大学) 「明治期カトリック宣教師における日本観の諸相」

(5) 高 揚 (筑波大学大学院) 「再依頼から合意形成に至る断りの会話の展開構造—断る側の日本語母語話者と中国人日本語学習者の比較—」

(6) 梁 鎮輝 (宇都宮大学大学院) 「露伴における『骨董』の意味すること—『美術』の圏外として—」

—セッション B—

司会：近藤 俊明 (東京未来大学)

(7) 茂石 チュック・ミリアム (スロヴェニア大使館) 「ジラールの欲望三角形を漱石の『こゝろ』で考える」

(8) 横地 徳広 (弘前大学) 「呪われた英雄と政治的仮象」

司会：花澤 聖子 (神田外語大学)

(9) 森崎 巧一 (京都経済短期大学)・高木 亜有子 (湘北短期大学) 「画像解析を取り入れた印象評価分析ツールの開発の報告—WEB アンケートツールおよび画像解析ツールの改良—」

(10) 高木 亜有子 (湘北短期大学)・森崎 巧一 (京都経済短期大学) 「一対比較と画像解析を用いたロゴマークの類似性分析」

研究発表後には懇親会も催され、大変楽しい一日となりました。参加者の皆様に心より御礼申し上げます。

支部長 伊藤 豊

## 関東支部

\*【報告】第50回関東支部例会

日時：2019年3月30日(土)

場所：東京未来大学 A棟 204 教室・205 教室

### プログラム

1. 開会の挨拶：関東支部長 近藤 俊明 (東京未来大学)

2. 研究発表

—セッション A—

(1) 木下 哲生 (防衛大学校) 「日本語は『完了形』と『非完了形』の2つでどのように時制を表現しているのか」

(2) 高橋 強 (東海大学) 「アメリカの多文化主義と言語政策について：オハイオ州を例として」

(3) 前田 浩 (新島学園短期大学) 「日英語における人間顕在化・潜在化表現」

(4) カルロヴァー ペトラ (早稲田大学) 「空手と仏教との関連性—スリランカにおける仏教徒の空手学習者の一考察—」

(5) 大江 平和 (お茶の水女子大学) 「熊希齡の生涯と北京香山慈幼院の設立と展開」

—セッション B—

(6) 向野 正弘 (県立所沢西高等学校・向野堅一記念館) 「百田尚樹著『日本国紀』騒動茫観記—インターネット上の言説から考える『反実証的歴史学』の動向—」

(7) 木下 律子 (創価大学大学院) 「Harry Potter and the Deathly Hallows における死者の役割—三浦哲郎『ユタとふしぎな仲間たち』との比較—」

(8) 川里 卓 (名古屋大学大学院) 「エドゥアール・マネにおける芸術表現と身体性—フォーコーとバタイユの考察を通して—」

- (9) 田中 真奈美 (東京未来大学) 「サンフランシスコ公立小学校日英バイリンガル教育 JBBP の言語・文化教育の課題」
- (10) 梁 鎮輝 (宇都宮大学大学院) 「露伴の人生論とその文学観—『努力論』を中心に—」
3. 閉会の挨拶：関東支部副支部長 高橋 強 (東海大学)
4. 2018 年度関東支部総会
- \* 【お知らせ】  
2020 年 3 月に関東支部例会を予定しています。

支部長 近藤 俊明

## 中部支部

### \* 【報告】

『比較文化研究』第 137 号の編集等について、「中部支部編集委員会」を組織し、澤田敬人委員長の音頭のもと、一丸となって取り組んでおります。

### \* 【報告】2019 年度第 2 回役員会 (メール会議：2019 年 10 月 2 日 (水) 付)

#### 1. 報告事項

中部支部・第 11 回支部大会を、2019 年 11 月 30 日 (土)、浜松学院大学にて開催する。

(※13 時～17 時を予定) 開催案内及び発表募集については、作成後に学会 HP へ UP し、中部支部会員へ周知することとする。

### \* 【お知らせ】令和元年度 中部支部 第 11 回支部大会

日時：2019 年 11 月 30 日 (土) 13:00～17:00

場所：浜松学院大学 実行委員長：津村 公博 (浜松学院大学)

内容：「自由研究発表」及び「シンポジウム (仮)」を予定しています。本部ホームページから申し込み書類等のご案内をいたしますので、奮ってご応募願います。

支部長 白鳥 絢也

## 関西支部

### \* 【報告】 2019 年度 3 月例会

日時：2019 年 3 月 2 日 14:30～17:00

場所：同志社大学今出川キャンパス 良心館 402 教室、403 教室

### プログラム

#### 1. 研究発表 (14:30～16:00 良心館 402 教室、403 教室)

—良心館 402 教室—

(1) 鄭 芝嫻 (関西大学大学院) 「小泉八雲『中国の神話と崇拜』研究—『地皇』『人皇』『伏羲』を中心に—」

(2) 道合 裕基 (京都大学大学院) 「菊池寛『島原心中』における森鷗外・芥川龍之介からの影響について」

(3) 周 堂波 (大阪大学大学院・武漢理工大学) 「日本庭園における『幽玄』—『日本のなもの』への道程の再考 (一)—後藤朝太郎の中国庭園に関する言説から—」

—良心館 403 教室—

(4) 劉 巍 (関西外国語大学大学院) 「『狸』と『狐』に関するあだ名の日中文化の比較」

(5) 川里 卓 (名古屋大学大学院) 「芸術的創造における『共感覚』と日常性」

(6) 橋尾 晋平 (同志社大学大学院) 「英語非母語話者の日本人英語教員の役割に関する一考察—学習者の母語からの影響に焦点を当てて—」

2. 講演 (16:15~17:00 良心館 402 教室)  
George Solt 先生 (同志社大学グローバル教育センター准教授)  
「US Scholarship on the Meiji Restoration: A Case Study in Historical Research Methods」

\* 【報告】 2019 年度 10 月例会

日時: 2019 年 10 月 5 日 13:00~17:00

場所: 同志社大学今出川キャンパス 扶桑館 103 教室

### プログラム

#### 1. 研究発表 (13:00~14:30)

- (1) トンヌー タントゥ (宇都宮大学大学院) 「日本語とベトナム語の構造的曖昧さに関する比較研究」  
(2) 劉 巍 (関西外国語大学大学院) 「あだ名のメタファー表現に関する日中文化の比較」  
(3) 橋尾 晋平 (同志社大学大学院) 「日本語の『主題+解説』構造による転移の克服に向けた文産出指導の実践研究」

#### 2. ミニシンポジウム (14:45~16:00)

テーマ: 反価値の人物造形: 西洋古典及び近現代ドラマの悪役の比較研究

司会: 中村 友紀 (関東学院大学)

- (1) 國友 万裕 (同志社大学) 「隠れた偏見: ディズニー映画の悪役表象と LGBT」  
(2) 玉垣 あゆ (名城大学) 「権力と怯え: セネカ悲劇における悪役の要素」  
(3) 中村 友紀 (関東学院大学) 「王権への警戒: エリザベス朝とジェイムズ朝の復讐劇の暴君」

#### 3. 講演 (16:10~17:00)

藤本 茂先生 (京都外国語大学国際貢献学部教授)

「国際貢献学の構築に向けて: 囚人のジレンマからの脱却」

\* 【お知らせ】

今後の予定: 関西支部 12 月例会 2019 年 12 月 7 日 (土) 会場: 同志社大学今出川キャンパス

関西支部 3 月例会 2020 年 3 月 7 日 (土) 会場: 同志社大学今出川キャンパス

支部長 山内 信幸

### 中国・四国支部

\* 【お知らせ】 2018 年度 3 支部 (中国・四国, 関西, 九州) 合同大会 (西日本大会)

日時: 2019 年 3 月 23 日 (土) 9:30~14:30

場所: 香川大学幸町キャンパス 8 号館 811 教室

### プログラム

#### 1. 中国・四国支部会 (9:30~10:30)

支部役員会 (1) 2018 年度事業報告 (2) 2018 年度会計報告 (3) 次期支部長・役員改選  
(4) 次年度活動案 (5) 新旧役員会

#### 2. 3 支部合同大会 (10:30~14:30) 口頭発表

- (1) 奥村 訓代 (高知大学) 「日本語教育から日本が見える」  
(2) 公文 素子 (高知大学) 「日本語テキストから学ぶ防災」  
(3) 轟木 靖子 (香川大学)・山下 直子 (香川大学) 「総合的学習の時間における地域防災教育の試み—多文化共生の視点から—」

#### 4. 総会

- (1) 各支部報告 (2) 次年度担当支部等について

支部長 轟木 靖子

## 九州支部

### \*【お知らせ】 関西・中国四国・九州3支部合同研究会

日時：2019年12月21日（土）

会場：西南女学院大学（北九州市小倉北区）

協賛：北九州市、（公財）北九州観光コンベンション協会

スケジュール：12:30 受付開始

13:00～17:00 研究発表

17:30～19:30 懇親会

### \*【お知らせ】 第32回九州支部大会のお知らせ

日時：2020年2月29日（土）13:00～17:00

場所：中村学園大学（福岡市城南区）地下鉄七隈線別府駅より徒歩2分

懇親会：17:30～19:30 会場周辺にて、予算4,000円

参加申し込みは、1月31日までに九州支部事務局まで

yahiro [アットマーク] seinan-jo.ac.jp

#### ・研究発表募集要項

書式：Wordを40字×36行に設定して、中央1行目にタイトル、1行あけて、氏名、そのあと（ ）内に所属を書く。1行あけて、A4サイズ1枚おさまるようにレジュメを作成してください。

発表申し込み先：A4サイズ1枚に作成したレジュメを添付ファイルにして、九州支部事務局までyahiro [アットマーク] seinan-jo.ac.jp

締め切り：2020年1月31日

支部長 八尋 春海

## 《事務局からのお知らせ》

事務局長 林 裕二

2期4年間に渡り会長を務められた奥村訓代先生の後を受けて、2018年5月に八尋春海先生が会長となり、新たな事務局体制による学会運営が始まり、1年と半年近くが経過しました。学会運営上の様々な対応や処理などを毎日のように経験し、前事務局の皆様のご苦勞が身にしみて分かります。この場をお借りしまして、奥村前会長、前事務局長の藤岡克則先生をはじめとする事務局の諸先生方に心より感謝申し上げます。

今後とも学会員の皆さまのご協力とご支援のほど、心よりお願い申し上げます。

### ○会員情報更新のお願い

住所不明により学会誌や会報をお届けできない会員の方がいらっしゃいます。就職、転勤等によるお引越の際には、忘れずに会員調査書に新情報をご記入の上、会員調査書送付先アドレスまでお送りください。なお会員調査書は学会ウェブサイトよりダウンロードしていただけます。

<日本比較文化学会 ウェブサイト 入会・会員情報変更>

[http://hikakubunka.jp/?page\\_id=97](http://hikakubunka.jp/?page_id=97)

<入会申込書・会員調査書送付先>

あゆみコーポレーション（業務委託先） hikakubunka@a-youme.jp

### ○会費納入のお願い

会費の納入にいつもご協力いただき感謝いたします。2年以上未納（学生会員については1年以上）の場合には会員資格を失うこととなりますのでご注意ください。

<会費振込情報>

郵便振替口座番号：02570-6-8921 加入者名：日本比較文化学会  
振り込みの際には、所属支部と何年度分の会費であることを明記してください。

《2018年度決算・2019年度予算報告》

2018年度日本比較文化学会 決算			2019年度日本比較文化学会 予算		
科 目	2018年度予算	2018年度決算	科 目	2019年度予算	
I 収入の部			I 収入の部		
1、資産運用収入			1、資産運用収入		
利子	160	10	利子	160	
2、会費収入			2、会費収入		
一般会員	2,833,000	2,746,000	一般会員	2,833,000	
賛助会員	10,000	0	賛助会員	10,000	
3、事業収入			3、事業収入		
『比較文化研究』配布収入	6,000	0	『比較文化研究』配布収入	6,000	
4、寄付収入			4、寄付収入		
寄付収入	0	0	寄付収入	0	
5、その他	0	0	5、その他	0	
当期収入合計(A)	2,849,160	2,746,010	当期収入合計(A)	2,849,160	
II 支出の部			II 支出の部		
1、大会開催関連費			1、大会開催関連費		
第40回大会費	300,000	300,000	第41回大会費	350,000	
第40回大会・海外会員補助	50,000	50,000			
2、支部運営補助費			2、支部運営補助費		
支部運営補助費	60,000	60,000	支部運営補助費	60,000	
3、『研究』発行費			3、『研究』発行費		
編集補助費	600,000	619,400	編集補助費	600,000	
発送費	800,000	581,293	発送費	800,000	
4、会員活動補助費			4、会員活動補助費		
若手研究者海外渡航費補助	150,000	0	若手研究者海外渡航費補	150,000	
5、提携学会交流費	100,000	72,820	5、提携学会交流費	100,000	
6、管理費			6、管理費		
事務局費	35,000	5,940	事務局費	35,000	
交通費	100,000	21,240	交通費	100,000	
通信費	10,000	3,198	通信費	10,000	
業務委託費	380,000	349,393	業務委託費	380,000	
会議費	150,000	47,780	会議費	150,000	
印刷費	50,000	108,000	印刷費	50,000	
HP管理維持費	50,000	36,456	HP管理維持費	50,000	
『会報』編集補助	27,000	25,400	『会報』編集補助	27,000	
手数料(振込み等)	38,000	42,277	手数料(振込み等)	38,000	
7、予備費	100,000	5,000	7、予備費	100,000	
当期支出合計(B)	3,000,000	2,328,197	当期支出合計(B)	3,000,000	
当期収支差額(A)－(B)	-150,840	417,813	当期収支差額(A)－(B)	-150,840	
前期繰越額(C)	4,006,169	4,006,169	前期繰越額(C)	4,423,982	
次期繰越額(A)－(B)＋(C)	3,855,329	4,423,982	次期繰越額(A)－(B)＋	4,273,142	